

各計画に関する石狩市地域自立支援協議会からの意見

令和 4 年 12 月 23 日開催の石狩市地域自立支援協議会全体会において、第 4 期障がい者計画、第 6 期障がい福祉計画及び第 2 期障がい児福祉計画の進捗状況を報告した際に意見があった項目は次のとおりとなります。

- 意見総数 9 件

内訳: 第 4 期障がい者計画に関する意見 7 件 (No.1～No.7)

第 6 期障がい福祉計画に関する意見 0 件

第 2 期障がい児福祉計画に関する意見 2 件 (No.8～No.9)

No.	意見の概要	回答内容
1	子ども発達支援センターの療育指導と民間事業所のサービスとのすみわけについて、どう考えているのか伺いたい。	子ども発達支援センターでは、受給者証を持っている児童を対象にした児童発達支援のみではなく、受給者証を持っていない児童についても数回程度だが相談や療育を受け、児童の特性に合わせた事業所を紹介するなどしている。 子ども発達支援センターは親子での通所を基本としていて、その点で民間事業所とのすみわけを行っている。
2	石狩版元気ショップは常設か期間限定か、場所はどこを考えているのか。	モデル事業として、1日から2日程度、市内のスーパーで実施を考えている。 今回実施した後、ご意見をいただき次回以降に繋げていきたい。

No.	意見の概要	回答内容
3	石狩版元気ショップの参画事業所が少ないと聞いた、もっと盛り上げていかないと次回に繋がらないのではないかと。	地域自立支援協議会事務局をとおして周知した結果、3 事業所から参画する意思表示があった。 今後については、他の事業所にも参画していただけるよう、今回実施した結果について、事務局をとおして事業所に報告するなどを考えている。
4	石狩版元気ショップの対象として、当事者団体の手作り品なども対象にする考えはあるか。	今後の検討課題として、ご意見を承る。
5	児童生徒への障害福祉サービス事業所での体験の機会や市職員に対する障がいへの理解促進については、非常に大事なことだと考えている。 コロナ禍で実施が難しい面があるが、オンラインなどを活用しながらできる範囲での活動を考えてほしい。	座学だけではなく、実際に体験することで学ぶことはたくさんあると思う。 各事業所をお願いすることが多くなると思うが、できることから始めていきたい。
6	人材育成や確保について、5 年後 10 年後を見据えた時に小中高生が福祉事業所で働きたいと思えるような検討をしていただきたい。	計画については、中間評価をしたうえで時代時代に合った施策事業を展開していくので、ご意見を踏まえて、より良い計画になるよう検討する。
7	ピアサポータの養成や活動支援について、今後はどのように推進していくのか。 すでに取り組んでいる団体があるので、困りごとなどを話すことができる場があると良いと思う。	今後具体的な検討を行う中で、ご意見を参考にさせていただく。

No.	意見の概要	回答内容
8	障害児相談支援の件数が増加しているが、保護者から「相談室が混み合っていてすぐに対応できないなどと言われる。」と聞いたことがあるが、相談支援事業所は足りているのか。	子ども発達支援センターへの通所を希望している児童に関しては、2か月ほどお待ちいただいているが、民間事業所を希望している場合は、優先的に計画を立てている状況、相談支援専門員を増員して対応にあたっている。
9	重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所と放課後等デイサービス事業所が市内に1か所ずつとのことだが足りているのか。	最近では重症心身障がい児の相談を受けていないが、市内には対象児が数名いる。